

第5学年

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
季節を感じて	絵	4	季節から感じたことを絵に表す。	知 表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫する。	知 自分もった季節のイメージを絵に表すことを通して、形や色、興行き、色の鮮やかさなどを理解している。
				☆ 思 季節を感じて、表したいことや表し方を考える。	技 描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				学 季節を味わい、描くことをたのしむ。	発 季節を感じて表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
					鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
のぞくと広がる ひみつの景色	工	4	箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わう。	知 表したいことに合わせて材料を選び、組み合わせを工夫する。	知 「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を工作に表すことを通して、形や色、興行きなどを理解している。
				☆ 思 どんな秘密の景色にするか考える。	技 さまざまな材料を適切に活用するとともに、これまでの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				学 自分や友達の作品のよさを味わう。	発 表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
					鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
ビー玉大ぼうけん	工	4	ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ。	知 ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫する。	知 コースのしかけによる玉の転がり方から、ものの動きやバランスを理解している。
				思 転がると面白いコースやしかけを考える。	技 玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけのつくり方を工夫して表している。
				☆ 学 友達と協力してつくることをたのしむ。	発 玉の転がり方をもとにしかけを思いつき、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。
					鑑 作品で遊び、友達のコースの面白さやしかけの工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
線から生まれたわたしの世界	絵	2	いろいろな線の描き方や重ね方を試し、表したいことを絵に表す。	☆ 知 線の描き方や組み合わせ方を工夫する。	知 いろいろな線を描くことを通して、線で表す形や色を理解している。
				思 線を描きながら表したいことを考える。	技 表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方などの表し方を工夫して表している。
				学 いろいろな線を描くことをたのしむ。	発 線を描きながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					鑑 線による表現のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
動きの形をつかまえよう	絵	2	人の動きや形をとらえて絵に表す。	☆ 知 人の動きや形をとらえて、表し方を工夫する。	知 人の動きを見たりそれを描いたりすることから、人の動きや形を理解している。
				思 動きや形をどのように表すか考える。	技 表したい形を表すために、材料や用具の特徴を生かして表し方を工夫して表している。
				学 いろいろな表し方で動きや形を描くことをたのしむ。	発 動きや形から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					鑑 自分や友達の作品のよさや特徴などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
ねん土で動きをハイ、ポーズ！	立	2	粘土で動き出しそうな人物を立体に表す。	☆ 知 ねじったりひねったりして、動きの出る表し方を工夫する。	知 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたことなどから、立体で表す動きやバランスを理解している。
				思 動きの感じをとらえ、表したいポーズを考える。	技 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたことなどして、動きを表すために表し方を工夫して表している。
					発 人の動きやバランスなどから、自分のイメージをもって表したい動きを思いつき、どのように表すか考えている。
					鑑 自分や友達の作品から動きを表す造形的な美しさや表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。

				学 粘土の触り心地を味わい、動きをたのしく表す。	主 粘土の触り心地を味わい、人の動きを粘土で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
べたんこねん土でつくってみると	立	2	板粘土をつくり、それを立たせたり丸めたりしながら表したいことを立体に表す。	☆ 知 べたんこ粘土でできる形のつくり方を工夫する。	知 板粘土を巻いて丸めたり立てたりすることから、形の特徴を理解している。
					技 切ったりひねったりつけたしたりするなどして、表したいものに合わせて立体的に表す表し方を工夫して表している。
				思 不思議な形から、つくりたいものを考える。	発 板粘土を巻いて丸めたり立てたりしてできた形をもとにイメージを広げ、表したい形を見つけ、どのように表すか考えている。
				学 べたんこ粘土からできる形の面白さをたのしむ。	主 板粘土でできる形の変化のよさを味わい、粘土で形をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
だんボールでためしてつくって	立	4	段ボールの特徴を生かして、切ったりはがしたり折り曲げたりして、立体に表す。	知 段ボールの折り曲げ方や切り方、組み合わせ方を工夫する。	知 段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。
					技 段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫して表している。
				☆ 思 段ボールの特徴から表したいものを考える。	発 段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				学 段ボールをいろいろな形に変えて、つくることをたのしむ。	主 段ボールの特徴を生かしてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
見つけてワイヤーワールド	工	6	針金の特徴を生かして、立体的に表す。	☆ 知 針金を曲げたり組み合わせたりして、つくり方を工夫する。	知 針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。
					技 針金の特性を生かし、ペンチや金づちなどの用具を活用しながら表し方を工夫して表している。
				思 針金でできる形から、表したいことを考える。	発 針金を曲げたりつないだりすることからイメージを広げ、つくりたい形を考えている。
				学 針金でできる形を見つけたりつくったりすることをたのしむ。	主 針金に手を加えながらつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
くるくる回して	工	6	クランクの仕組みを生かして、動くおもちゃをつくる。	☆ 知 形や色、動く仕組みづくりなどを工夫する。	知 クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解している。
					技 周辺材料などを活用するとともに、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、表し方を工夫して表している。
				思 揺れ棒の動きからおもちゃを考える。	発 動きやバランスをもとに、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことなどから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように主題を表すか考えている。
				学 繰り返し動きの面白さをたのしむ。	主 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。 つくりだす喜びを味わい、クランクの仕組みを使って動くおもちゃをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
コロコロ ローラーダンス	絵	2	ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しながら絵に表す。	知 ローラーを使った表し方を工夫する。	知 ローラーを使って表すことを通じて、形や色、それらの組み合わせやバランス、色の鮮やかさなどを理解している。
					技 ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫して表している。
				☆ 思 ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考える。	発 ローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。
				学 ローラーを使ってたのしく活動する。	主 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。 つくりだす喜びを味わい、ローラーで表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
重ねて広がる形と色	絵・版	6	彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で木版画に表す。	☆ 知 彫刻刀の使い方や刷り色などを工夫する。	知 版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。
					技 彫り進み版画の特徴を生かして、彫る形や重ねて刷り色など表し方を工夫して表している。
				思 彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考える。	発 彫りと刷りの繰り返しから想像を広げて表したいことを見つけ、どのように表現するか考えている。
				学 彫りと刷りを繰り返して表すことをたのしむ。	主 自分や友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。 彫り進み版画の活動に関心をもち、彫りと刷りを繰り返して表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
				☆ 知 電動糸のこぎりの使い方や板の組み合わせ方を工夫する。	知 板を自由に切ることを通じて生まれた形やその組み合わせの動きや興行、バランスを理解している。
					技 電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫して表している。

進め！糸のこたん検隊	工	6	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った形を組み合わせてつくる。	思	切った板を組み合わせながら、表したいことを考える。	発	形や色、バランスなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
				鑑		主	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
	遊	2	身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する。	知	自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫する。	技	これまでの経験を生かして、自然の材料や場所の特徴を活用したり、技能を総合的に生かしたりして工夫してつくっている。
				思	材料や場所の特徴を生かして何ができるか考える。	発	材料を集めたり、場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考えあわせながら活動することを考えている。
	遊	2	学校のさまざまな場所にビニルひもを使ってつなぐことで空間を変化させる活動をする。	思	ビニルひもや場所の特徴からできることを考える。	発	ビニルひもで場所と場所をつなぐことでできる空間の変化をもとに自分のイメージをもち、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				☆ 学	自然の材料に親しみ、友達と協力してたのしく活動する。	主	友達と協力して、自然のある場所や材料に働きかける学習活動に主体的に取り組もうとしている。
この空間がいい感じ	遊	2	学校のさまざまな場所にビニルひもを使ってつなぐことで空間を変化させる活動をする。	知	場所に合わせてビニルひもの使い方を工夫する。	知	ビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を自分のよと思つものに委ねることを通じて、形や色、場所や空間を理解している。
				思	ビニルひもや場所の特徴からできることを考える。	技	表したい空間になるようにビニルひもの使い方など活動を工夫してつくっている。
	絵	4	学校の中で見つけたすてきなものやことを絵に描いて伝える。	☆ 知	おすすめしたいことが伝わるように表し方を工夫する。	知	自分なりの見方や感じ方を働かせておすすめのものやことを絵で紹介する活動を通して、形や色などを理解している。
				思	学校のおすすめしたいものやおすすめしたいことを考える。	技	おすすめしたいものやことのが伝わるように、描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表し方を工夫して表している。
	絵	4	あったらいいな、行ってみたいと思う町を想像して絵に表す。	思	想像を膨らませて、表したい空想の町を考える。	発	学校の中からおすすめしたいものやことを思いつき、どのように表すか考えている。
				☆ 学	学校の中でいろいろなきよさを見つけて、伝え合うことをたのしむ。	鑑	友達の表現の意図や表し方の工夫などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
あったらいい町 どんな町	絵	4	あったらいいな、行ってみたいと思う町を想像して絵に表す。	知	思いついた形や色の組み合わせを工夫する。	知	絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。
				思	想像を膨らませて、表したい空想の町を考える。	技	想像した表したいことに合わせて、これまでの描画材料の経験を生かし、形や色の表し方を工夫して表している。
	鑑	2	町の絵を見て、作品から想像したことや考えたり感じたりしたことを伝え合う。	☆ 思	町の作品からいろいろなことを想像して見方や感じ方を深める。	発	あったらいいなという町を具体的に想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。
				学	互いの感じ方のよさや違いをたのしんだり味わったりする。	鑑	自分や友達の作品のよさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
わたしの町のひみつ教えます	鑑	2	町の絵を見て、作品から想像したことや考えたり感じたりしたことを伝え合う。	知	作品に描かれている町の様子を見て、形や色の特徴に気づく。	知	作品に描かれている町の様子を見て、形や色など理解している。
				☆ 思	町の作品からいろいろなことを想像して見方や感じ方を深める。	技	
	工	6	紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力してクレイアニメーションをつくったのしむ。	思	キャラクターに合わせた動きとお話を考える。	発	キャラクターからお話を想像して表したいことを思いつき、動かし方やコマのつながりをどのように表すか考えている。
				知	キャラクターの動かし方やコマのつながりを工夫する。	鑑	友達の作品の表現の意図や特徴、動かし方による違いなどについて、自分の見方や感じ方を深めている。

				☆ 学 友達と協力してクレイアニメーションをつくることをたのしむ。	主 友達とアイデアを出し合い、協力してクレイアニメーションをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
おもしろかんぱん屋さん	工	6	学校のことをたのしくわかりやすく伝える看板をつくる。	知 学校のことを伝える看板の形や色を工夫する。	知 身のまわりの看板や展示する看板の形や色などを理解している。
					技 段ボールを活用し、これまでの材料や用具などの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				思 学校の生活をたのしくする看板を考える。	発 看板にして伝えたいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				☆ 学 看板をつくって伝え合うことをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、学校のことを伝え合う看板をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。